

地域交流型シェアオフィス

そらや

soraya

地域交流型シェアオフィス「そらや」

～ 空き家から生まれた、小さな幸せ～



久山町の人口と高齢化率



人口

9,222人



高齢化率 (2017)

福岡県平均 26.2%

久山町

28.0%

7,573

8,504

約 20% 増

1998

2016

2021

住宅開発による新築の増加



高齢化に伴う空き家の増加



空き家

129

件（空き家率約4.3%）

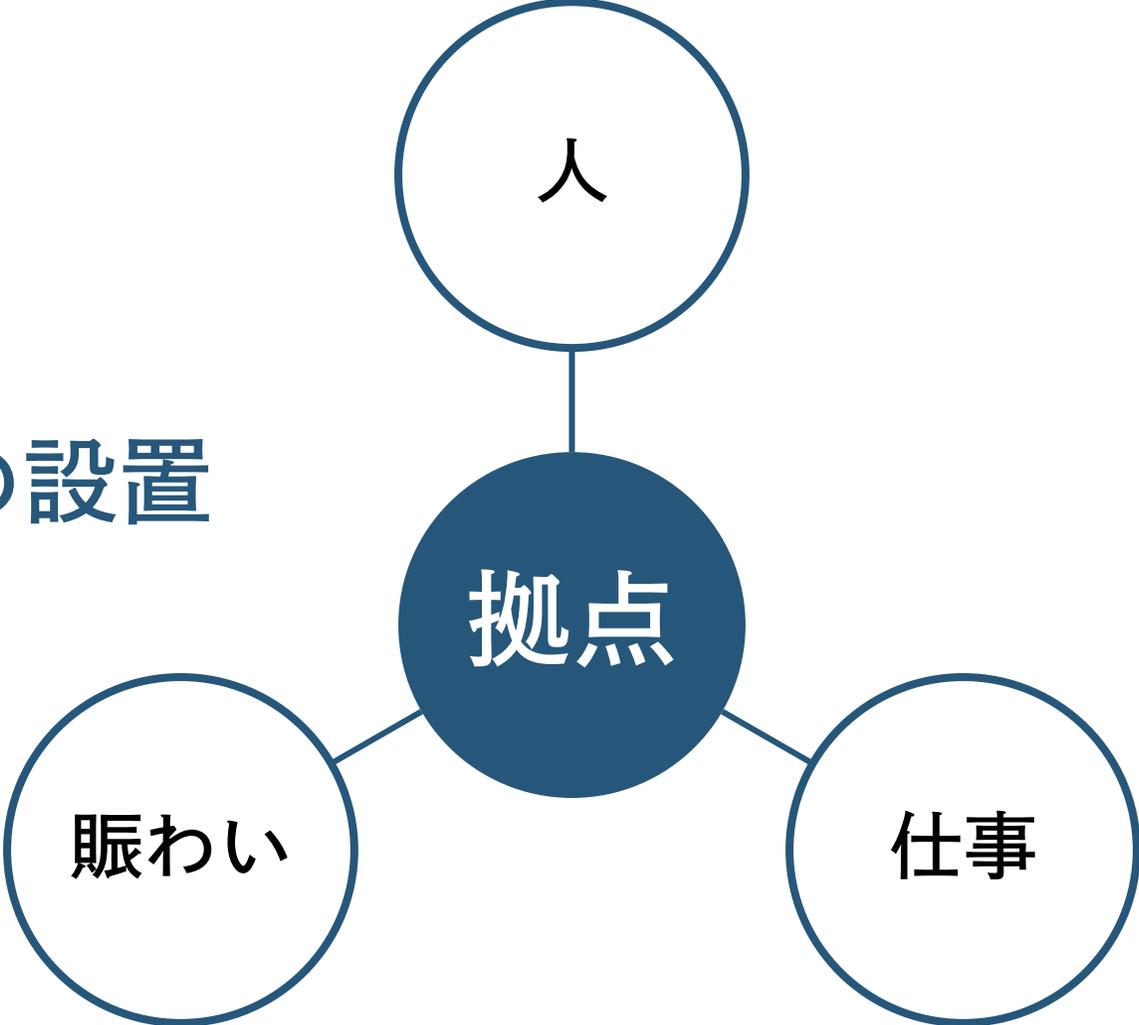
2015年（平成27年）時点

地域の空洞化

地域の活性化の3つの要素

- ① 人
- ② 賑わい
- ③ 仕事

拠点 (ハブ) の設置



地域の意識

人は増えた方がいい。でも、外の方は…

どんな人か心配



地域コミュニティに
協力的ではない

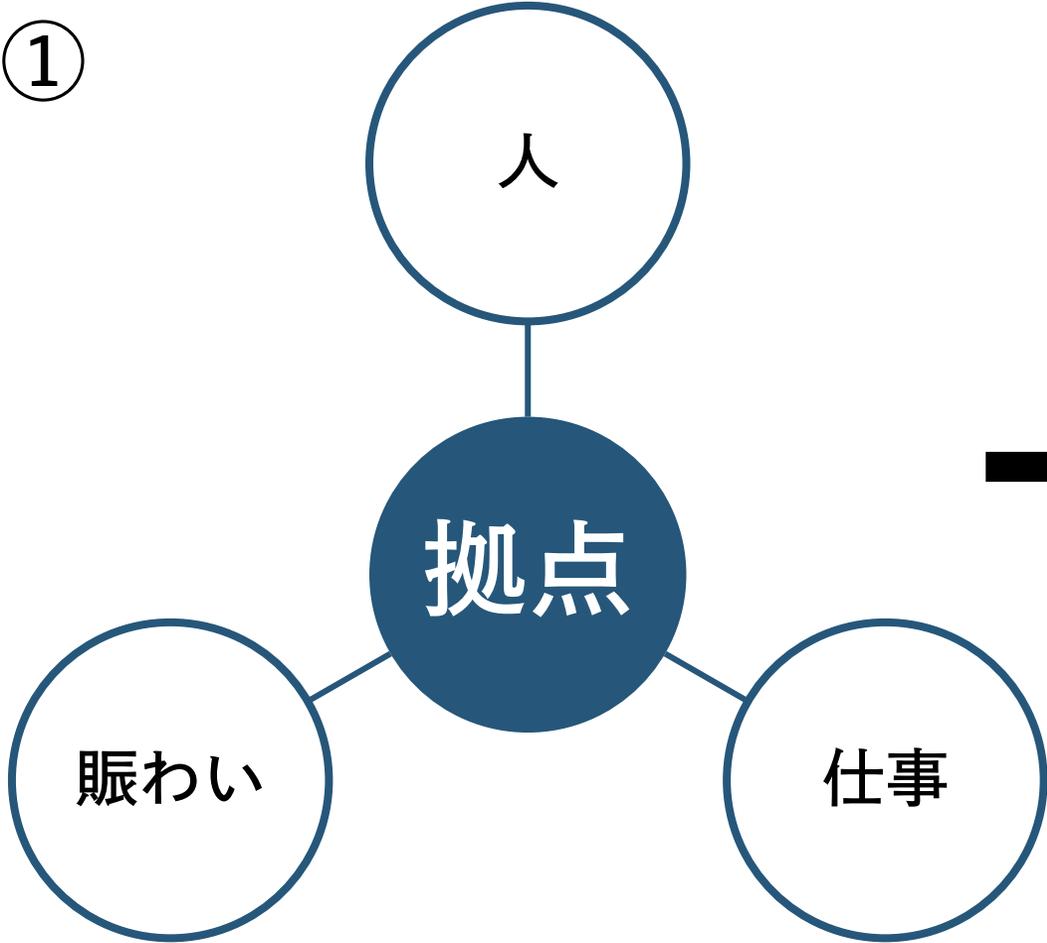


外の人への抵抗感を和らげる

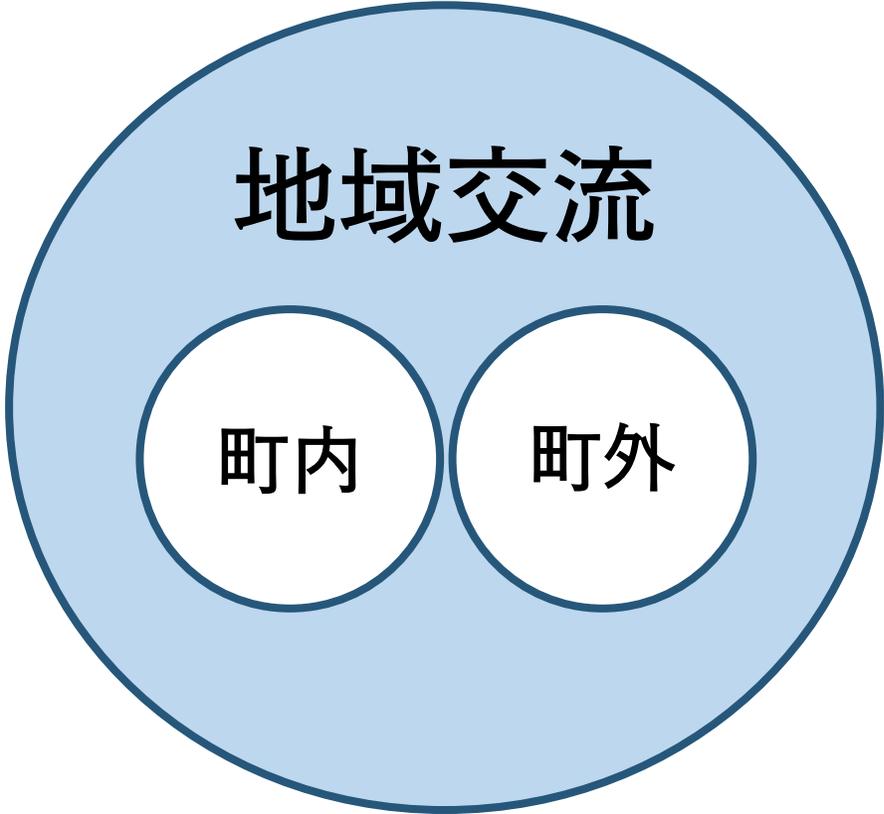
交流

地域活性化に向けた取り組み

①



②



+



拠点設置への不安

遅くまで
うるさいんじゃないか



バーベキューとか
やるんじゃないか



火事になったら
誰が責任とるんだ



地域の人に愛着をもってもらう



あきや から地域を元気に。 そらや

地域の人に愛着をもってもらう

完成までのながれ

- 空き家所有者から寄付の申し出
- 空き家活用の講演会
及び整備概要説明
- 改修作業の開始
ワークショップ（3回）
- オフィススペース利用者募集

2019年6月「そらや」利用開始



▲ 空き家改修ワークショップの様子

「そらや」 竣工



Before



After

「そらや」竣工



Before



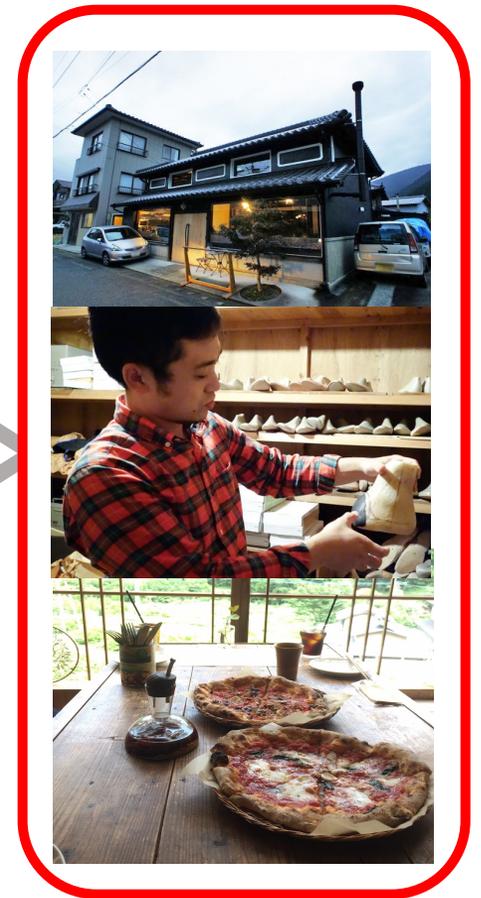
After

そらやの運営モデル

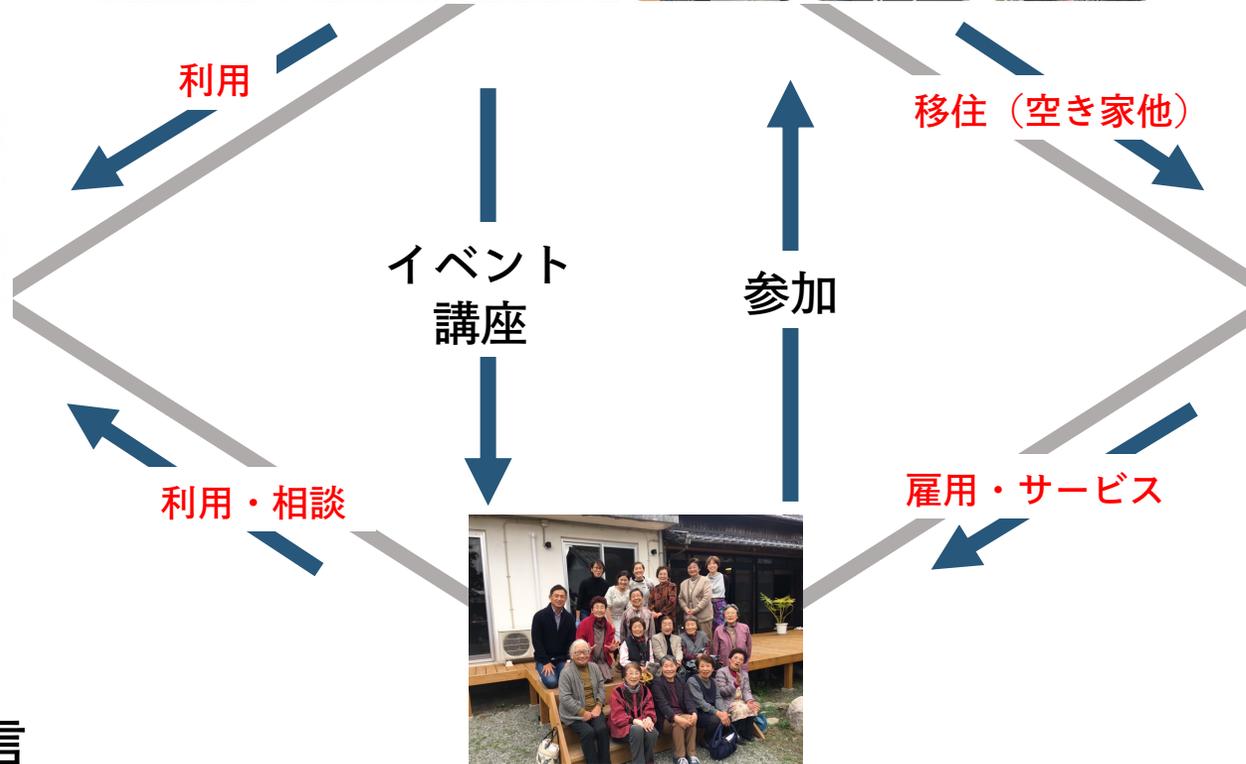
オフィス利用者



起業・移住



交流拠点
空き家情報の収集・発信



住民

オフィス利用者の条件

- 久山町が好き
- 地域交流に前向き
- ビジネスを展開

集まったオフィス利用者

デザインやものづくり、農業、エネルギー、金融など
多様な分野から利用者が集まってくださいました。

利用者の会 結成

会社や事業の枠を越えて、
地域とつながる機会づくりを一緒に。





地域交流会の実施
令和元年9月

庄屋方組合
の皆さんとの交流会



地域交流会の実施 令和元年12月

「サロンあじさい」
の皆さんとの食事会



そらや交流イベント 第一弾！



そらやマルシェ

soraya marche

2019.10.12(土) 11:00-16:00

主催 / そらやマルシェ実行委員会

第21回
マルシェ
開催



そらや
soraya

- 利用者の自主性
- 地域の協力性
- ネットワークの強化と拡大

利用者の自主性

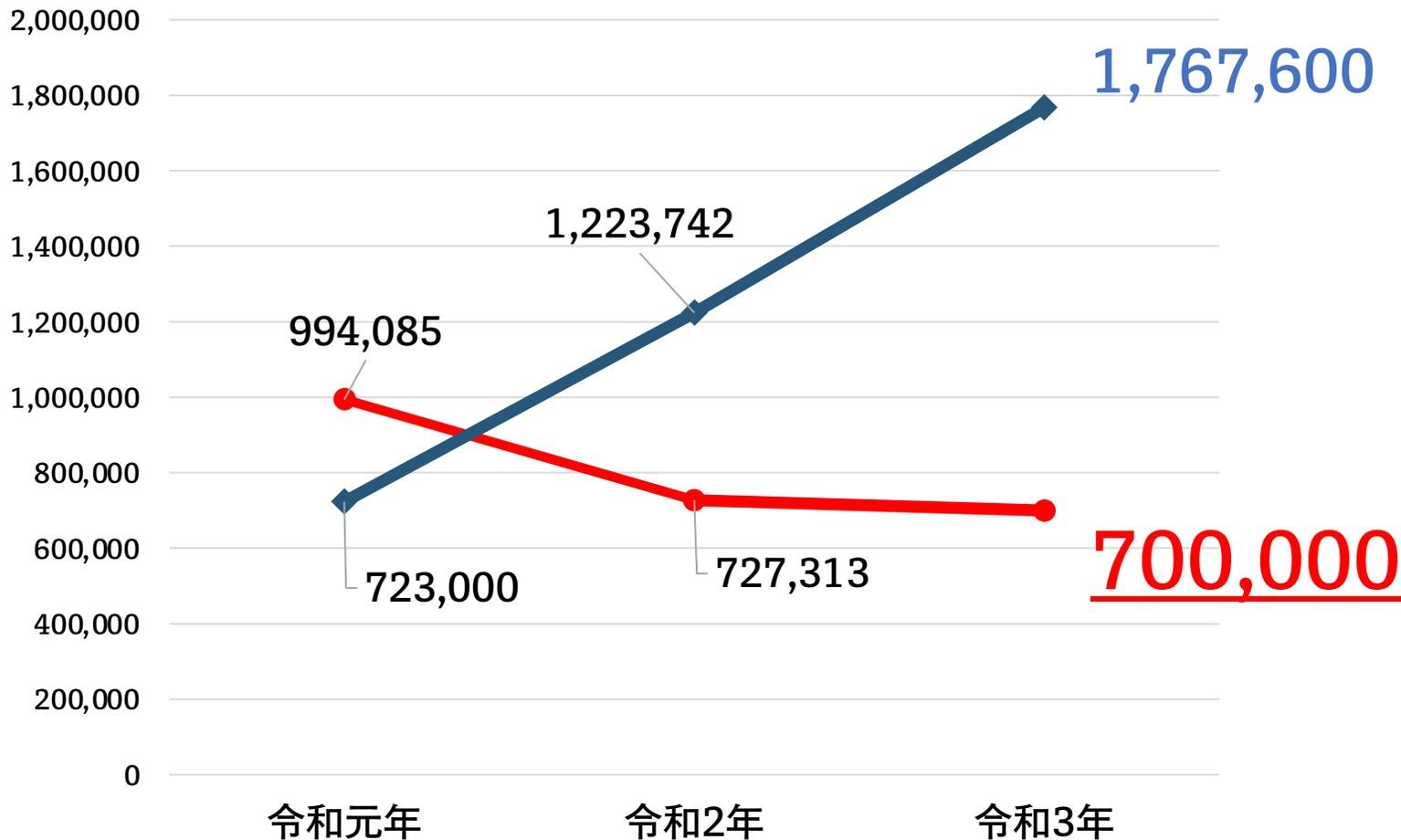


利用者の自主性



利用者の自主性

歳入・歳出



そらや通信

soraya

そらや通信 04号
2021年6月
発行そらや

伊野天照皇大神宮
伊野駅前
たからのハコ
そらや

郷利恵 (ごうりえ)

- ① 所属/方からのハコ
- ② どんな仕事? / コミュニティをつくるための絵本屋さん
- ③ 趣味は? / 子育て
- ④ 久山町の好きなところ / 狼がゐるところ
- ⑤ ひとつこと / ぜひ遊びに来てください

『すきな絵本はね、パーバパー!』
5月上旬、そらやに、密にならないよう配慮しながらオープンしたのは、そらやの新メンバー郷利恵さんによる『たからのハコ』。
安心して集えるまちづくり、絵本を通じたまちづくりを目指した実践的な試みです。コロナを克服した後は、みんなで楽しくおしゃべりでき、子どもたちの賑やかな声が響き渡る...そんな日常を支える準備が始まっています。緊急事態が解除されたら是非、様子を見に来てくださいな。
令和3年6月
そらやメンバー一同

地域交流型シェアオフィス「そらや」 / 久山町大字猪野 998-2 TEL 092-410-0160

地域の協力性



ネットワークの強化と拡大



ネットワークの強化と拡大



Ciao ♡ from Milano, Italy!

オンラインツアー
バーチャル観光 (ミラノ編)

レスポとミラノをオンライン生中継!
現地レポーターがみなさんとお話し
しながらご案内!

ナビゲーター 川村りか

イタリアミラノ居住 21年
現地で出産、育児、仕事を体験
ミラノの日本人向け新聞
「Ciao! Journal」紙への寄稿、
同紙専属フォトグラファーとして活躍中。

日時: 11月18日(木)
時間: 15:30 ~ 17:00

ネットワークの強化と拡大

空き家・起業相談（町内外）



「問題」が地域の「話題」に！

地域交流型シェアオフィス

そらや



soraya

のこれから

ひさやまてらこや+



久山町・福岡デザイン専門学校「創造的人材育成事業」包括提携

デザイン通じ地域課題解決

久山町が小中高生向け新「学びの場」



久山町は新年度から、町内の小中高校生の創造性を高め、将来の可能性を広げる一助にしようと、町独自のプログラム「ひさやまてらこや+」を始める。町は昨年12月、福岡デザイン専門学校（福岡市）と「創造的人材育成事業」に関する連携協定を締結。ワークショップなどを通じ、地域の課題を「デザイン」を通して考え、柔軟な思考手法を学んでもらうという。

新年度から **専門学校と連携事業**

町は970年に町域の96・3%を市街化調整区域に指定。開発を抑え、自然や農地を保全してきた。同時に人口増の抑制策も導入し、福岡市に隣接しながら人口は約9200人。町立小学校2校と中学校1校で「一人一人の顔が見えるきめ細やかな教育」に取り組んでいる。「社会で活躍する人づくり」を町の成長戦略の一つと位置付けており、学校教育とは別の形で、新たな学びの場を提供し連携協定締結を記念して開かれた、端材を使って生活雑貨を作るワークショップ

町は「デザイン」について、単に美しいものや個人的なものをつくることだけでなく、「さまざまな課題を造形的な表現で解決する手段」と定義。「公共施設の空間デザイン」「将来の夢の発見」などのプログラムを検討しているという。

西村勝町長は「学校とは違う、物差しを子どもたちに提供する。小さい町だからこそできる、生きる力にフォーカスし、人生のデザインにつながるカリキュラムにしたい」と話している。（森竜太郎）

町は2024年度までの3年間を予定。同専門学校の講師が町と協議しながら、タッチ（見る、聞く、触れる）、イメージ（想像、探求、思考）、プロデュース（創造）を3本柱として、「コミュニティ意識の希薄化」といった「地域の課題」を教材にワークショップなどを重ねる。

農業・商業の活性化



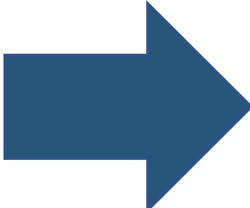
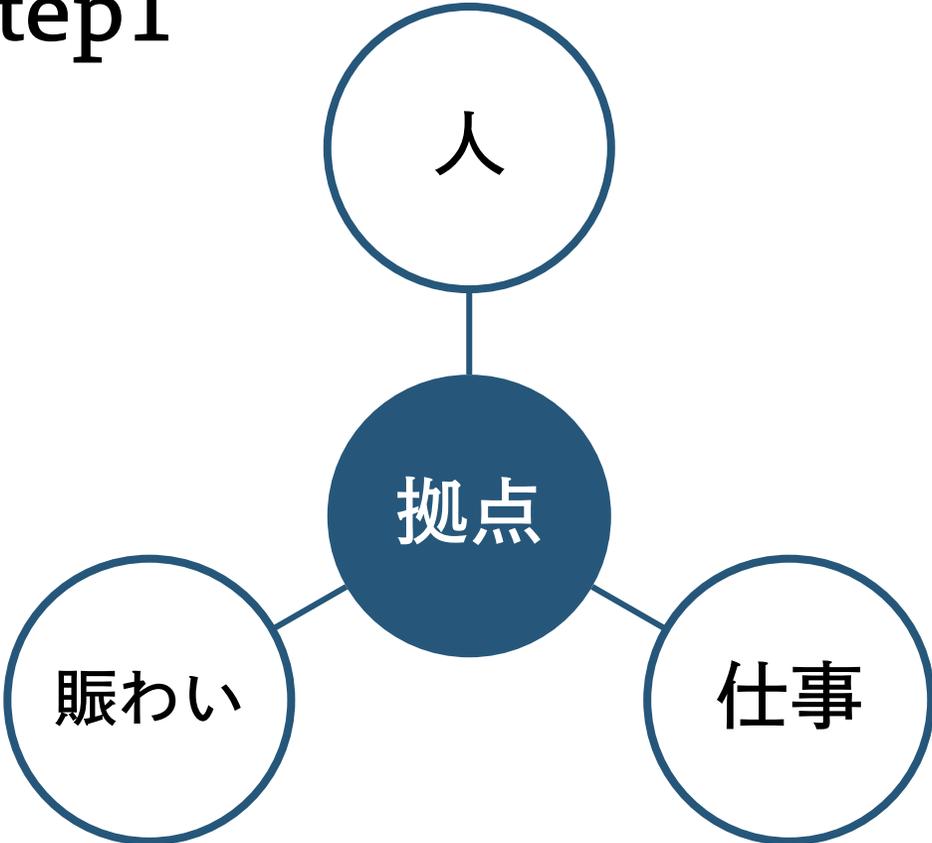
FOODBOX
次世代就農者育成



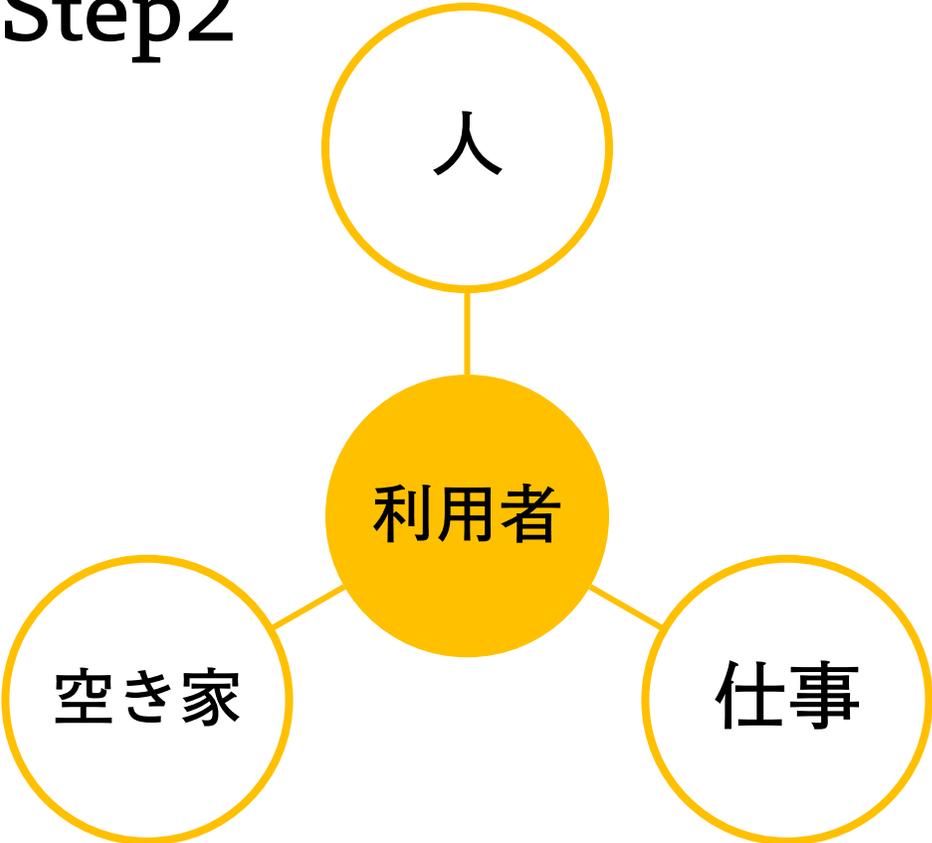
西日本シティ銀行
久山養蜂場との商品開発・販路開拓

役割の変化

Step1



Step2



地域交流型シェアオフィス「そらや」の特徴

- ① デメリットをメリットに
- ② 行政がつなぎ役
- ③ 関係人口が生まれる仕組み

庄屋方組合 忘年会（2021）



一年もしたらいなくなる
みんなそう思ってたけど
もう2年半もなるったい
すごいね！

A narrow alleyway in a traditional Japanese neighborhood. On the left is a building with horizontal wooden shingle siding. On the right is a building with vertical wooden siding. A dark grey sign in the foreground has the white Japanese characters 'そらや' (Sora-ya) written on it. In the background, a group of people, including women and a child, are walking away from the camera down the alleyway. The ground is paved with asphalt and has two manhole covers. The scene is brightly lit, suggesting daytime.

そらや

最後になりますが、私たちはコロナ禍を経験し、改めて人と人とのつながりの大切さを認識する良い機会ではないでしょうか。

「人」と「人」が顔を合わせ、話をして、笑いが生まれる。

そらやの取り組みは、当たり前なのに目を背けずに、向き合ってきた結果です。